

## R3職員アンケートの結果

1=あてはまらない 2=あまりあてはまらない 3=ややあてはまる 4=よくあてはまる

R3.1月

項目		4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標や学校経営方針を学級経営に反映している。	7	4	0	0	3.6
2	教材研究を十分に行い、今年度の研究内容を意識した授業に取り組んでいる。	4	7	0	0	3.4
3	進んで学ぶ児童の育成を行うことができている。	3	9	0	0	3.3
4	教育活動全体を通じて、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むようにしている。	6	5	1	0	3.4
5	学校のきまりや月のめあてが徹底するよう指導を行っている。	5	5	2	0	3.3
6	日常の観察や聞き取り調査、定期的な「なかよしアンケート」の結果をもとに、いじめの未然防止に努めている。	7	5	0	0	3.6
7	他の職員と連携しながら、児童や保護者への生活指導や対応等を行っている。	8	4	0	0	3.7
8	地域や社会の様々な人と出会う機会を作り、人の生き方にふれる活動を仕組んでいる。	8	4	0	0	3.7
9	外遊びを奨励したり意欲的に「げんきタイム」に取り組めるようにしたりしている。	6	6	0	0	3.5
10	「早寝・早起き・朝ごはん」の指導や計画的な食育指導を行っている。	3	8	1	0	3.2
11	日頃から児童の危機対応能力を高める指導を行っている。	6	6	0	0	3.5
12	勤務時間を意識して仕事に取り組んでいる。	5	6	1	0	3.3
13	学級だよりを発行したり、保護者と連絡を取り合ったりして、児童の学習や生活の様子等の情報を共有している。	8	4	0	0	3.7
14	学習指導において、9年間の学びの連続性を意識して授業を行っている。	4	8	0	0	3.3
15	特別支援教育についての研修を深め、学級の指導にいかしている。	6	6	0	0	3.5

・15項目中11項目において、100%の職員が「ややあてはまる」「よくあてはまる」と肯定的な回答をしている。その中でも、7「他の職員と連携した対応」、8「地域との連携」、13「保護者との情報共有」は、平均3.7で特にポイントが高く、地域・保護者・職員と連携して児童を育む意識が高いことがわかる。

・10「食育指導」については、3.2ポイントと全項目中、評価が一番低かった。コロナ禍が続き、全校でランチルームに集まることもできない状況であるが、各学年の発達段階に合わせた食育指導ができるように、給食主任等を中心に進めていきたい。

・2「教材研究」については、9月の結果と比べて0.1ポイントではあるが上昇した。校務の精選や効率化に取り組むことで、授業に向けた教材研究の時間を今後とも確保していきたい。